

2024年度 第2回 日産京都自動車大学校教育課程編成委員会 会議報告書

1.開催日時 2025年3月 6日(木) 13:00ー16:00

2.開催場所 日産京都自動車大学校

3.出席者

(自動車整備領域) 団体代表	乗地 博之 様	京都府自動車整備振興会 教育課 課長(一級工学科、自動車整備科兼任)
(学校外委員) 企業代表	土井 広行様	兵庫日産自動車株式会社 採用・人財育成部 部長 (一級工学科担当)
企業代表	平松 由揮 様	滋賀日産自動車株式会社 栗東店 副店長 (自動車整備科担当)
企業代表	ゴータイ ソン様	兵庫日産自動車株式会社 採用・人財育成部 (国際自動車整備科)
(車体整備領域) 団体代表	岩本 宏成 様	京都府自動車車体整備協同組合 副理事長(ボディリペア科、カスタマイズ科兼任)
(学校外委員) 企業代表	桑島 久史 様	日産自動車株式会社 グローバルサービスエンジニアリング部 (自動車整備・ボディリペア科担当)
企業代表	正木 高志 様	京都サービス株式会社 吉祥院工場 工場長 (自動車整備・カスタマイズ科担当)

(学校内委員) 学校長	川嶋 則生	
教頭	鳥井 英雄	
課長	清水 昭一	教育部 自働車整備課・国際課
課長	大村 哲嗣	教育部 一級課・車体課
課長代理	佐藤 友彦	教育部 自動車課
課長代理	井上 恵太	教育部 自動車課(国際科)
課長代理	遠藤 博之	教育部 一級課
統括	民野 武史	教育部 車体課
課長代理	当麻 範嗣	教務課

4.欠席者	(車体整備領域) 団体代表	岩本 宏成 様	京都府自動車車体整備協同組合 副理事長(ボディリペア科、カスタマイズ科兼任)
	課長代理	遠藤 博之	教育部 一級課
	統括	民野 武史	教育部 車体課

5.議 題

1)校長挨拶

- ・2024年の日産校5校入学者合計が、約900人になり、この人数は、2009年ぐらいのレベルと同じ値になる。
- ・留学生比率が日本人比率を超え52%が留学生になります。
- ・2025年の京都校の入学者数は248名で、去年より20名増やすことができました。日本人も12名増加。
- ・企業推薦枠で入学される方がも年々増加しています。
- ・留学生の出身地は、25年4月に入ってくる124名について、スリランカ、ミャンマー、ネパールが9割を占めます。
- ・京都校の留学生の在校生総数は、2025年4月時点では合計262名(約100名がスリランカ、ネパール、ミャンマー、バングラデシュの4カ国)になります。
- ・京都校の留学生入試は、日本語試験で行い選抜を行っています。日本語、勉学の質はレベルが担保されると留学生が入学する。
- ・中国の重慶にある学校(6000人規模)と提携行い、中国人留学生受け入れプロジェクト(日本語の堪能な優秀な留学生を入学する)を進めています。

2)2024年度活動計画報告(重点課題)

i 自動車整備科

①国家試験の取り組みの進捗状況。

- ・2月12日実施の日産5校統一試験の結果より、昨年度並みの成績で順調に仕上がっている。
- ・留学生が昨年と違い、文章が良く読めるため成績が良い。
- ・国家2級整備士試験(2教科)の完全合格を目指す。

②実習授業の充実

- ・自動車整備科のクラス変更(4クラスから3クラス)に伴い実習テーマ16テーマから12テーマに変更。合わせて、授業時間を25時限から33時限に変更を行った。テーマ数が削減されたが、1テーマの時限数は増え、削減されたテーマを補う内容に変更している。また、充実した内容に変更しています。

③ICT授業

- ・一人一台の学習端末(chromebook)の導入は継続しています。
- ・教室で単焦点プロジェクターと従来のプロジェクター併用して活用し、教科書、パワーポイント、教材を投影し、学習効果をあげています。
- ・学生は自分の端末を開き、授業内容を何度でも見ることができるので、学習効果をあげています。

④学びの改革

- ・PROG(社会で求められる汎用的な能力・態度・志向)を測定したスコアが入学時の測定から卒業時のスコアが、0.2P向上した。0.2Pの上昇は高く評価される(他の大学などはポイントを下げられる場合もある)。ルーブリック評価を継続した成果であると考えられる。
- ・EPC(Electronic parts catalog)に対応するため、1年生から実習授業に取り入れました。実習授業に関係する部品の検索を行っています。基礎的な部品検索ができるようになっています。
- ・特定整備記録簿記入について、実習作業で該当する作業を行った場合は、記録簿の記入を行っています。

II 1級工学科

①資格試験取り組み

- ・日産資格について
TA3級:39名受験で1名不合格
TS2級:41名受験で全員合格。
- ・国家試験の状況について(4年生)
今年は昨年より非常に良い状態。、21期生が全員合格した学年と同じレベル。成績下位の7名の進捗は、昨年不合格だった学生の平均値より、良い平均値で、全員合格の見込みがあります。

②卒業研究の充実 4テーマを選定 学生F、全項目完走

・4つのテーマの卒業研究

中学校授業→3校に訪問し、電気に関する実験やギアやリンク機構の動力伝達に関する講座などを実施。
EV車→昨年バッテリーからの吐出電流が大きすぎてトランジスターが焼けて走れませんでした。が、今年は走れるようになった。
ガasket研究→ バイクエンジンに学生が設計したガasket組み込み、実際に使用。
タイヤの研究→新品のタイヤを使い、ブレーキテスターや濡れた路面で制動距離を測定し、タイヤを削ることで制動距離が伸びることを確認。
テーマで課題を設定し、実験で検証、最終結論を求めることで、課題解決能力やコミュニケーション能力の向上が図れた。

- ・学生フォーミュラー

EV車検→通過しEVチームの中、2番手の成績。
機械車検→全項目をクリアーし、EVチームでトップの成績。1箇所のみ再受験を受けた。
動的審査→動的性能(0-70km/h加速)で2位。耐久レースでは、5周目からハンドルが切れなくなり、最終1周で停止、リタイアとなった。
総合成績は75チーム中42位、EVは21チーム中9位と昨年より良い成績。
今年度の進捗率は、重要な書類がベースで完了し、審査待ちの状態です。予定通り実施できる見込みです。

- ③下級生の学力向、1年生から工学科単独クラスを立ち上げる

- ・1年生に1級コースが新設され、全員が1級課程。1年生には目標の掲示、現状把握を行う。2年生には目標確認問と動機付け、実力把握と理論的思考の意識付けを行う。

Ⅲボディリペア科について

- ①資格試験取り組み

- ・日産資格について
車体士3級:30名受験で全員合格
塗装士3級:30名受験で全員合格。

- ・国家試験:上位成績者、下位成績者ともに順調な成績を維持。
- ・卒業実習:15台の車が入庫し作業をしています。

- ②実習授業の1テーマ化

- 1テーマ教員2人で授業を行い、1人が説明し、もう1人がフォローに入る。教員の目が行き届き習熟度が上がった。

- ③電子制御装置等の整備主任者講習

コンサルトを使用しエーミングを実施。
今年度の結果:
ボディリペア科3年 10名受験→1名不合格。
カスタマイズ科3年 20名受験→5名不合格

Ⅳカスタマイズ科について

- ①NEO SKYLINE

- ・50代から30代をターゲットカスタマーに、50代には懐かしい、40代には無難な、30代にはあまりこういう形の車がないので、オリジナリティのある車カッコイイと思ってもらえた。

- ②Z Lealia

- ・家族でワゴンを大前提として、ターゲットカスタマーは20代後半から40代で、家族4人乗りを想定。
特徴は、前から見るとゼットの顔をしてますが、後ろから見ると違うのが分かるような形。
ベースはステージアでゼットの顔をしてます。後ろにはリーフのリアハッチをつけ、ルーフを撤去。
モノコックは強度不足になります。強度を注視する傷み試験を行い、合格になれば登録を行います。

- ③メディア露出

東京オートサロン:25万8406人が来場(過去最高)。ロンドンブーツの亮さんのYouTubeにも車が掲載された。
オートメッセ:約20万人ぐらいの来場者。

- ④効果

オートサロンで説明がうまく喋れなかった学生が、オートメッセでは自分からお客さんに話しかけ、コミュニケーション力の成長が見れた。

Ⅴ国際オートメカニック科について

- ①留学生は117名入学生し、国際オートメカニック科の学生は、117名入学。

- ②学習の学びやすさ。単独クラス編成で留学生にわかりやすい授業運営。

- ③生活面 原則3時限運営。アルバイトがしやすいカリキュラム。

- ④日本語について 1年生、2年生には、外部講師による日本語授業、アプリの活用(JLPT N2合格を目指す)→JLPT 資格のN2保有率は26.8%近隣のメーカー校の中でも保有率は一番高い。
各実習授業の中で実習に関係する内容のスピーチを評価点に加え、コミュニケーション力を向上させる。
ルーブリック評価にも日本語力、コミュニケーション力を加えている。

4)2025年度の重点課題についての意見交換

- ⅰ自動車整備科

- ① 2年生の実習授業の充実

- ・1年生と同様に、自動車整備科のクラス変更(4クラスから3クラス)に伴い実習テーマ16テーマから12テーマに変更。合わせて、授業時間を25時限から33時限に変更を行った。テーマ数が削減されたが、1テーマの時限数は増え、削減されたテーマを補う内容に変更している。また、充実した内容に変更しています。

- ②ICT授業の更なる拡充

- ・入学してくる1年生が、GIGAスクール構想の影響で高校の時からタブレットを使いながら授業を受講。コンテンツの開発にも着手し対応を継続する。

- ③自動車整備士資格への対応

- ・2級自動車整備士総合資格に対応。現在カリキュラムの検討はもちろん、バイクを活用した実習授業(エンジンを降ろすや定期点検など)も織り込む。
従来の登録試験より2週間前倒しにも対応するカリキュラムを作成する。

Ⅱ1級工学科について

- ①卒業研究について

- ・4年生は卒業研究25名、卒業研究は4テーマを行う。学生の主体性育む

- ②学生フォーミュラについて

- ・11名のメンバーで、車両の軽量化、旋回性の向上、総合4位の成績を目指す。

- ③下級生の学力向上

- ・1年生:2024年度の取り組みを踏襲。
2年生:電気制御の知識、電気回路の理解不足、計算力を補う授業を行う。

Ⅲボディリペア科について

- ①特定整備への取り組み

- ・テキストが変わり、電子制御の部分が追加。エイミング作業を学生自身に取り組ませ、教員はサポートを行う。特定整備記録簿に記入する内容を追加する。

Ⅳカスタマイズ科について

①オートサロンとオートメッセに2台ずつ出展予定。学生数は18名が9名ずつの2班に分かれ、ターゲットカスタマーとコンセプトを決めて車を作る。

Ⅴ国際オートメカニク科について

①日本語力の向上（国際オートメカニク科の学生は、117名入学）。

- ・1年生、2年生にJLPT資格取得するために、継続して外部講師による授業を行う。
- ・就職活動のサポート(120名の留学生の受け入れ先を見つける)
 運転免許取得のサポート(学費支払いに追われ資金が出せない、学科試験合格が困難)
- ・3年目のカリキュラム構築、作成。

5. 議 論

1) 結 論

2) 意見交換と質疑応答

今回の教育課程編成委員会にて、議題について委員からご意見をいただくことができた。
いただいたご意見をよく検討し、次年度の授業内容、教育方法などに織り込みながら教育の質の向上を図っていく。

種別		項目	所属	質問者	主な意見、質問
1)	各課の今年度の取り組みについて	留学生の日本語の読み書くについて	兵庫日産	土居様	入社後、留学生の日本語読み書きができないことが問題になっている。損害保険の資格取得も困難である。入学後、どのような取り組みを行っているのか。 ・ルビ(送りがな)は、1年生の前期で取りやめる(教材、教科書) ・実習授業のレポートは、PCを使用せず手書きにしている。 ・留学生担当の教員は日本語講師の講習(420時間)を受講しており、留学生指導を行う。 ・日本語資格試験アプリや日本のマナーを学ぶアプリを使用し、進捗状況など把握し指導する。 ・留学生の卒業生から教職員採用を検討している。→ 留学生の気持ちがかかる。留学生指導がしやすい
		EPC、電子整備記録簿について	滋賀日産	平松様	電子整備記録簿へ変更されてきている。 →タブレットタイプになっている。在学中に少し触ってもらうだけで就職後スムーズに作業ができる。 →導入を検討
		安全装備の学習の必要性	滋賀日産	平松様	安全装備の学習、新車の特徴を知る必要がある→お客様の誤解を解くために必要 →学校で授業を行う(販売会社出張授業など)。時期は、卒業前に行い学習効果を上げる。 →情報、資料の件、スマート、DPP、EMS→桑島さまが確認され、連絡をいただく
		日産の板金士資格、塗装士資格について	日産自動車	桑島様	日産板金資格、塗装資格において、合格率は約70%。その中で御校は、100%合格されていることは素晴らしい。是非、今後続けていただければと思います。
		ボディリペア科の授業について	兵庫日産	土井様	ボディリペア科の授業が1テーマの組み分けの頻度はどれくらいの間隔ですか？ →1か月間隔で授業入れ替える。
		NBC板金講座について	日産自動車	桑島様	BPのNBC講座について 初級:触ったことない人 中級:ある程度経験があり:塗れる、調色できる人 上級:5年以上現場経験のある方が対象。作業を使って、大損傷の修理を行う。さらに中級講座では、4日間でリアフェンダー両方交換を学びます。 ボディリペア科の教員の方も受講していただければと思います。
		カスタマイズ科車両製作、出展効果について	日産自動車	桑島様	オートサロンの出展効果(学生):製作した車両の説明では、自分がやったことに自信を持って説明を行うことが出来ていない。さらに、2ヶ月後のオートメッセでは説明が上達していた。良い経験ですので、今後も継続して欲しい。
		ボディリペア科の授業について	兵庫日産	土井様	ボディリペア科の教員数について、人数が増え1テーマの人数は減っていないのか。 →1テーマの実習に2名の教員で対応するため、実質増員して授業運営している
		留学生に日本人との交流について	兵庫日産	ゴータyson様	日本人学生との交流、活動は行われていますか？ →入学して早々、日本人を交えた新入生のウェルカムパーティーを実施。日本人と留学生を同じテーブルに配置。日本人学生さんから留学生に日本人の「じゃんけん」のルールを教えてもらう。 日本語の授業の中で、日本の文化を勉強する授業とがありますか？ 1年目はやってない。2年目、3年目でそういうところを盛り込みたいと思っています。
		ルーブリック評価、ルーブリック表について	兵庫日産	ゴータyson様	ルーブリック表について、従業員の教育一つとして、使用を検討させていただきたいので、参考資料にさせていただきたい。→ルーブリック表の資料を送付させていただきます。
		カリキュラム削減について	京都府自動車整備振興会	乗地様	自動車整備科のカリキュラム削減について、今後行う予定はありますか？ 2025年度は現状のまま継続。2026年には、1年次に3級テキスト学習早く終え、2級テキストの内容を取り入れる。 文部科学省から、2年間のカリキュラムの確定をしないと受け取れないということを言われましたので、2026年度には2年分カリキュラムの確定ができるため削減を行う。
2)	FY25重点課題	整備科のクラス削減の影響について	兵庫日産	土井様	整備科のクラス数について、クラス数を減らすことで1クラスあたりの学生数が増えるのではないかと？ →現在1年生は3クラスです。1級クラスの学生数は37名。その他の2クラスが47名、48名となっています。 実習については、現在1年生は教材車両を10台体制にしており、1台あたり4人、もしくは3人で作業をしている。
		OBD車検の対応について	京都府自動車整備振興会	乗地様	OBD検査の取り組みについて、最近トラブルが多く散見される。御校でのOBD車検の対策は行われているのか →4年生のインターンシップ前の実習で検討。整備科でもインターネットを使ってOBD検査の概要を説明。合格しないと車検合格できない事を説明。 OBD検査トータルサイトなど活用し授業内に取り込むことを検討する。
		JLPT試験の受験について	兵庫日産	土井様	入学後、JLPT試験のN2のチャレンジされるのは全員チャレンジされますか？ →7月受験は希望者のみ。12月受験は1年生全員受験(資格取得者以外)。
		留学生の自動車免許取得について	兵庫日産	ゴータyson様	留学生の母国での自動車免許を日本の免許のサポートを行いますか？ 技術面のサポートをできていない、練習の案内ができるだけである。学科試験は、10問中、7問正解すれば合格のため合格が安易である。 留学生の運転免許取得は、京都校以外でも大きな課題です。学費を払うだけで精一杯であり、就労制限が28時間でのアルバイトでは、金銭的に厳しい。 入社してから自動車免許の取得が許される企業や、教習所費用を捻出してくれる企業もあります。留学生はそのような企業受験が集中し始めている。

3)	学校からの意見傾聴	国際オートメカニック科 のカリキュラムについて			留学生のカリキュラムは、余裕があるため、自動車免許取得、コミュニケーション力向上、損害保険資取得などを行う事 中。
		学則についての意見を 伺う			学校の校則基準を見直す時期に来ています。ご意見を伺いたい。 お客様対応をするため、厳しくするという意見もある。 多様性を認める流れもあるが、お客様から見られる立場というのをベースに仕事をしているが時代に合わせないと行け ないと思います。 社内でも浸透するのに時間がかかる。また、浸透させるのが残念ながら難しい。 一認め出したのがトヨタ名古屋校です。トヨタ名古屋校もパンフレットを見ると茶髪の方が掲載されています。頭髪などが あるため、学生がトヨタ校に流れ始めようとしています。学則を変える必要がある。販売会社の基準を緩めるのではなく、学校 でやる間は良い。働いてから区切りを取って、会社の基準を守る。検討を継続する。